

令和8年度神戸大学国際人間科学部発達コミュニティ学科総合型選抜入試問題

表現領域受験（美術受験）筆記試験

『出題の意図・評価ポイント』

美術に関する基礎的知識及び美術文化全般に対する関心の深さと理解力を問う検査

※1 この『出題の意図・評価ポイント』についての質問、照会には一切回答しません。

※2 配点（素点）は入試問題に記載してあります。

なお、本学入学者選抜のための教科・科目ごとの配点については、令和8年度神戸大学学生募集要項を参照してください。

【出題の意図・評価ポイント】

問題Ⅰ

美術作品を鑑賞する能力（専門性）、鑑賞を踏まえた作品理解（思考力）、制限時間内に作品を説明する論理的描写力（表現力）を問う問題である。

これまでに実践してきた美術作品の鑑賞の態度と読解の能力を見るとともに、特に視覚的・造形的な美術作品を、他者にもわかりやすい平明な言葉に置き換え説明することができるか、作品に対する自分の考えを論理的説得力をもって表現することができるかどうかについて評価した。

問題Ⅱ

美術作品、特にデザインの分野に関わる作品を鑑賞する能力（専門性）、鑑賞を踏まえた作品理解（思考力）、制限時間内に作品を説明する論理的描写力（表現力）を問う問題である。評価基準は問題Ⅰと同様である。

問題Ⅲ

芸術に関わる文章の読解を踏まえ、芸術と社会、芸術と人間の関わりについて思考し、自分の考えを論理的に説明する能力を問う問題である。自身の考えを説得力をもって表現することができるかどうかについて評価した。